

数値目標の根拠（第2期）

○住宅の耐震化率

住宅戸数 304戸

新耐震基準で建築された昭和56年以降の住宅 126戸 (41.5%)

昭和55年以前に建築された住宅 178戸 (58.5%)

耐震化率 現状41.5% → 目標50%

○無電柱化延長

現状 0→1km (町中国道153号沿い、設楽根羽線上町地区)

○耐震性貯水槽

現状3基 (役場、なごみ、榊) → 5基 (旧役場駐車場+α)

○想定最大規模降雨での浸水想定区域図の作成 0箇所→3箇所 (平瀬橋付近、松下栄樹、小柄 藤城幸蔵・藤城孝弘)

○砂防事業による施設整備

現状1 井沢完成 → 目標3箇所 (森沢+α)

○急傾斜地放火対策事業による整備

現状1 (田島実施中) → 目標2箇所 (α)

○土砂災害から保全される人家戸数 32戸→69戸

○災害時住民支えあいマップ等の作成 100%

○村道橋梁補強の整備率 24%→48%

○村道斜面等の要対策箇所の対策率 25% (推計) → 35%

○災害対策用ヘリポートの整備 1箇所 → 2箇所

○消防団員数 50名 → 50名

○自主防災組織の再編と防災力の強化 23地区 → 23地区

○給油施設への非常用発電設備設置への助成 0% → 100%

○医療器具の整備充実 55% (推計) → 80%

○根羽村役場 B C P 計画の策定 0% → 100%

○土砂災害特別警戒区域内の避難所に対する土砂災害対策着手数 1 施設 → 3 施設
(根羽学園体育館着手中、トレーニングセンター、G H 森沢)

○役場庁舎の自然エネルギーを利用した非常用電源設備の確保 20% (推計) → 50%

○移動系無線施設のデジタル化 0% → 100%

○村内での県内ラジオ放送の受信 0% → 100%

○エネルギー消費量で見るエネルギー自給率 5% (推計) → 15%

○上水道施設の B C P 策定 0% → 100%

○上水道の重要給水施設への管路の耐震化 4.9% → 30%

○配水池等の耐震化と整備 0% → 10%

○汚水処理施設等の B C P 策定 0% → 100%

○重要な下水管渠の地震対策実施率 0% → 1 0%

○橋梁の耐震補強の整備率 24% → 48% (目標 5 橋)

修繕対象橋梁数 82 橋

診断結果 I (健全) 24 橋・II (予防保全) 37 橋・III (早期措置段階) 20 橋・IV (緊急措置段階) 1 橋

数値換算は III・IV の 21 橋とする。

R6 までの整備済 5 橋

○道路斜面等の要対策箇所の対策率 25% (推計) → 35%

○緊急輸送路を補完する基幹的農林道の開設 目標 2.4km (洞中線、新井小柄線)
R2～R6 開設延長 新井小柄線 616m+洞中線 761m=1,377m

○緊急輸送路を補完する基幹的農林道の改良等 目標 4.9km (本洞線、外山高橋線)
R2～R6 改良舗装延長 本洞線 2,227m+外山高橋線 1,624m=3,851m

○個別企業への B C P 策定支援 0 事業所 → 2 事業所 (G S エレテック、マルイ)

○5年に一度の橋梁点検の実施　　目標　三順目

○除雪車の整備　　3台　→　4台

○融雪剤散布車の整備　　0台　→　1台

○農業用水路の整備箇所　　完了　カブラセ水路　→　目標2箇所（α）

○民有林の主伐再造林面積（森林組合R7総会資料）　7.6ha　→　10ha

○民有林の間伐面積　　40ha　→　40ha

○民有林の木材搬出量　　5,085m³　→　6,000m³

○森林空間利用森林の整備　　0箇所　→　3箇所（赤坂、安城水源の森、その他）

○避難所用簡易トイレの確保　　0基　→　10基

○災害廃棄物処理計画の策定率　　0%　→　100%

○自主防災組織率　　100%